

## 新年のごあいさつ

新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

昨年中は、本協会の事業運営に対し、ご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

2022年1月7日(金)に小嶺忠敏名誉会長(76歳)がご逝去されました。

喪心よりお悔みを申し上げますとともに哀悼の意を表します。

皆様ご承知のごとく、全国高校サッカー選手権大会 優勝6回、インターハイ等を含む全国優勝17回を達成する「実績」を残された上に、多くの「人財」を育てられました。まさに名将でした。

選手たちとの信頼があったが故に「厳しい指導」と「妥協するな」という教えが心に刻まれてきたと思います。

長崎新聞の「水や空」に掲載されていたように「全盛期一人ひとりが自分の役割を理解し、決して手を抜かずプレーしていた」「チームの根底に強い責任感があった」「小嶺監督は教育者であった」との記事が思い出されます。

令和4(2022)年壬寅(みずのえとら)歳です。

「壬」は中国古書によると「任と通じ担うなり」責任を担う意とあります。責任のある地位に任命された人が責任を果たすか否かで物事が伸びるか後退するかとなる。「壬」の年は人事が肝要と言われます。

「寅」の「ウ冠(うかんむり)」は組織・存在の中で人が差し向いの象形を意味している。寅には約束する、協力する、同志が相たすける意、演(のびる)、伸びようとする状態のことです。

今年の壬寅歳は良い陽気を宿していると言われ、その陽気を引き出す為にも責任を持てる人を見極めて、組織の中で チームの中で 志を同じくする人事を大切に、旧来の惰性を除き、新しく始まる機運、変革の年、アフターコロナ

の新しい取り組みに向けて、慎重に考えて行けば大きな進展があります。

組織に於いても各チームに於いても、良い陽気を取り込んでください。

新年に入るや否や、新型コロナウイルス「オミクロン株」が猛威を振るい予断を許さない状況が続いております。JFAのガイドライン、長崎県のガイドライン等を遵守して、引き続きコロナウイルス感染拡大防止にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

各郡市サッカー協会並びに各種委員会におかれましては、当協会の諸事業や大会運営等の延期・中止も余儀なくされ、多大なるご心配やご負担をお掛けいたしますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

2022年はJFA101年目の輝かしいスタートの年であります。

V・ファーレン長崎には、松田監督のもとにチーム一丸となってJ1昇格を果たしていただきたい。

A代表の森保監督には、コロナ禍の厳しい状況ではありますが自信を持ってW杯出場をめざしていただきたい。

県協会の皆様の熱い応援を宜しくお願い致します。

結びにあたり、今年一年が“幸多き実りある年”でありますよう御祈念申し上げ新年のごあいさつとさせていただきます。

令和4(2022)年 壬寅歳

1月20日 大安吉日

一般社団法人

長崎県サッカー協会

会長 殿村 育生